

2022

# 水土里ネットおきなわの概要



水土里の拓くみるく世を

鳴らしとうゆまし守禮の邦から



## 第44回 全国土地改良大会 沖縄大会

開催日時：令和4年11月22日(火) 13:00~15:30  
大会会場：沖縄アリーナ(沖縄市)

## 目 次

☆会長あいさつ	3
水土里ネットおきなわ 会長 古謝 景春	
☆水土里ネットおきなわについて	4
☆水土里ネットおきなわの多様な事業活動	6
☆事業計画(円滑な事業採択を支援します)	8
【農村計画課】	
☆調査計画・実施設計から技術援助・施設維持管理までを支援します	
【農村整備課】	10
☆農地の集団化や担い手農家への集積促進を支援します	12
【農地管理課】	
☆土地改良施設の適切な点検・整備・操作を支援します	14
【農地管理課】	
☆水土里情報システムで土地改良施設や農地情報の管理・分析を支援します	
【農地管理課】	16
☆最新技術の導入による精度と効率の向上	18
【調査測量課】	
☆電子成果の保管及び品質検査業務	21
【会員支援課】	
☆日本型直接支払制度(多面的機能支払交付金)の取組を支援します	
【会員支援課】	22
☆発注者支援機関として	24
☆参考資料	26



# 沖縄県の農業農村整備事業 関係者のみなさまへ



平素より農業農村整備事業の推進並びに本会の運営につきまして、格別なるご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本会では、令和4年11月22日(火)に「<sup>みどり ひら ゆな しゅれい くに</sup>水土里の拓くみるく世を鳴らしとゆまし守禮の邦から」をスローガンとして、第44回全国土地改良大会(沖縄大会)を沖縄アリーナ(沖縄市)で開催することとしております。沖縄復帰50周年の節目の年に本大会が開催されますことは大変意義のあることであり、全国の関係者の皆様と本県において農業農村整備事業の果たしてきた役割を確認するとともに、今後の事業展開の重要性を共有したいと考えています。

国では、本年3月に(1)急瀬の防災事業の拡充、(2)農地中間管理機構関連事業の拡充、(3)土地改良事業団体連合会の業務の見直し、(4)土地改良区の組織変更制度の創設、を要点として土地改良法を改正しました。県では、「持続的農林水産業の振興」と「フロンティア型農林水産業の振興」を目的とする新・沖縄21世紀ビジョン基本計画によって、地域特性を活かした農林水産業の振興に取り組んでおられます。

我々、水土里ネットおきなわは、これら国、県の新たな制度や計画を活用し、生産に適した圃場や畑かん施設の整備、耐候性施設の導入により、地域農業の収量増大、品質・価格の向上、高収益作物への転換やスマート農業の促進を実現可能とします。それらは、農業従事者の所得向上や担い手の育成・確保等に繋がります、農業・農村に持続可能な発展をもたらすものと期待できます。

本会は、農業・農村の振興を図るため皆様と連携して農業農村整備予算の確保と農業農村振興の活力向上となる施策実施が図られるよう国、県をはじめ関係機関に引き続き要請を致します。そして、土地改良法第111条の2が掲げる土地改良事業による共同の利益増進の目的を達成するため、調査・事業計画策定、実施設計、換地、技術援助、施設管理、さらに災害復興対応、防災・減災対策支援等、多様な会員支援体制を構築し、その実現に邁進して参ります。

本年4月から新たな役員体制での出発となりました。関係機関の皆様におかれましては、なお一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年4月1日

水土里ネットおきなわ  
会長 古謝 景春

# 水土里ネットおきなわについて

## ◆ 沿革

- 1962年10月、第2次大戦後の沖縄で土地改良事業を推進するため沖縄土地改良組合連合会が任意団体として設立される。
- 1966年12月、設立総会において琉球土地改良事業団体連合会の設立が可決、翌年2月に設立認可申請を行い、翌3月に認可される。
- 昭和47年8月に定款の変更申請を行い、翌9月の農林水産大臣による認可を受けて沖縄県土地改良事業団体連合会に改名。

## ◆ 目的

水土里ネットおきなわは、市町村、土地改良区等を会員とする自主的に組織された協同組織です。

土地改良事業の適切かつ効率的な運営を確保するため会員の行う土地改良事業の指導及び援助を行い、その共同利益の増進を図ることを目的としており、土地改良法によって営利を目的としない公益法人等に位置づけられています。

## ◆ 主な事業内容

- 土地改良事業に関する技術的指導・援助および教育、情報の提供
- 土地改良区体制強化事業、土地改良負担金総合償還事業に関する業務
- 農道台帳管理業務 ●土地改良事業に関する調査・研究、及び金融の改善
- 水土里情報に係る業務 ●農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮に係る業務
- 地域農業水利施設ストックマネジメント事業 ●農業集落排水施設の更新整備に対する事業
- 各種事業の成果品の品質管理体制の構築 ●国又は県の行う土地改良事業に対する協力

## ◆ 役員 ※令和4年4月から新しい役員体制となりました。

令和4年4月1日現在

役職名	氏名	団体役員名
会長	古謝景春	南城市長
副会長	中山義隆	石垣市長
副会長 (特任)	知念武	
専務理事	新城治	
理事	島袋秀幸	伊江村長
〃	當眞淳	宜野座村長
〃	仲間一	金武町長
〃	大屋政善	うるま市与那城宮城島上原土地改良区 理事長
〃	新垣安弘	八重瀬町長
〃	仲田建匠	南大東村長
〃	照屋秀雄	宮古土地改良区 理事
〃	桃原聡	県農林水産部農漁村基盤統括監
代表監事	玉城信榮	沖縄本島南部土地改良区 理事長
監事	新垣昇	長浜川土地改良区 理事長
〃	金城秀雄	

## ◆ 区域別会員数

令和4年4月1日現在

区域名	市町村	土地改良区	農協	計
北部	12	7		19
中部	6	7		13
南部	12	6	1	19
宮古	2	1		3
八重山	3	1		4
計	35	22	1	58

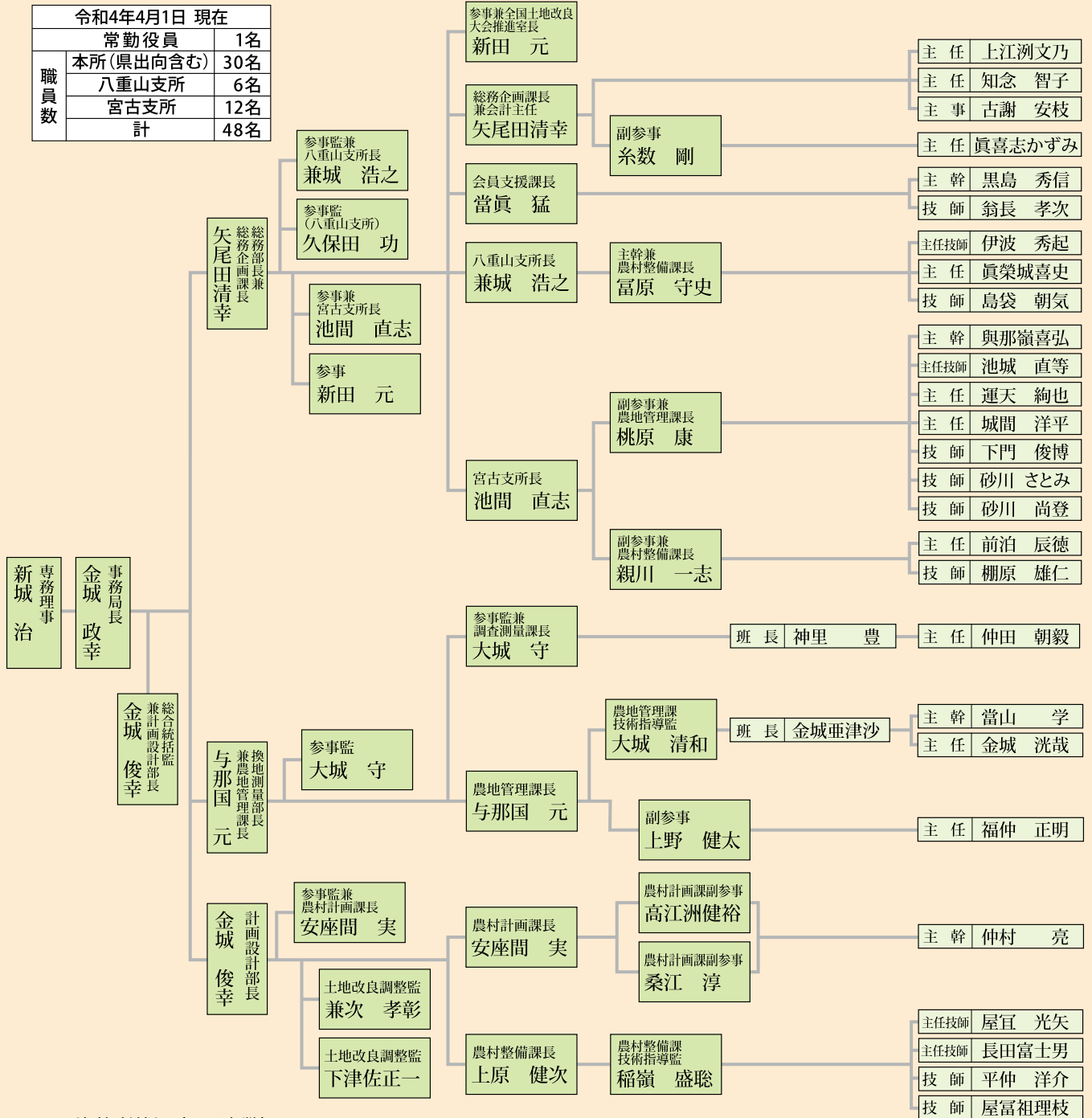


# ◆ 機構図



夢ある農村づくりを目指して

換地等調整事業の開始に合わせて、育成すべき経営体への農用地の利用集積を早急に進め、換地計画・換地処分の実施を円滑に行うために、その事業遂行部署となる「換地測量部（農地管理課・調査測量課）」を創設し、「計画設計部（農村整備課・農村計画課）」との2部体制としました。



### ■資格者状況 (のべ人数)

資格名称	技術士(総監)	博士	技術士(農業土木)	技術士(建設)	技術士補	農業土木技術管理者	土地改良専門技術者	土地改良換地士	RCCM	農業水利施設機能総合診断士	測量士
資格者数	1	2	3	1	6	14	15	16	5	6	12
資格名称	1級土木施工管理技士	2級土木施工管理技士	1級管工事施工管路技士	2級管工事施工管路技士	1級建築施工管理技士	2級建築施工管理技士	上級農業集落排水計画設計士	農業集落排水計画設計士	浄化槽技術管理者	浄化槽管理士	
資格者数	10	6	3	2	2	1	4	2	2	3	
資格名称	畑地かんがい技士	土地改良補償業務管理者	農業農村地理情報システム技士	応用情報技術者	基本情報処理技術者	地質調査技師	下水道排水設備工事責任技術者	浄化槽設備士	農村災害復旧専門技術者	複式簿記会計指導員	
資格者数	11	4	8	1	2	1	1	3	9	5	

### ■業務登録

- ・建設コンサルタント登録 (令和3年12月19日登録、建03第8799号、農業土木部門)
- ・測量業者登録 (令和3年3月16日登録、登録第(1)-36390号)

# 水土里ネットおきなわの多様な事業活動

水土里ネットおきなわは、地域づくりの計画から事業実施・サポートまでの総合的な支援事業活動を展開しています。

## 啓発普及・広報活動・会員支援

パンフレット及び情報誌を配布し事業推進に努めています。

会員からの相談やニーズに対応するため、本所に会員支援課を設置し、土地改良事業に関する相談等を行っております。

- 広報誌の発行
- パンフレット及び情報誌を配布



- 各種事業等の相談
- 土地改良区の運営等に関する各種相談



- 災害復旧支援



- 多面的機能支払交付金活動を支援





## 行政と地域との連携

### 事業計画

地域の皆さんとともに将来構想を考えた事業計画の作成や、地域構想の実現に向けた先進事例の紹介・事業計画書作成など、事業の採択に向けた支援を行います。



- 各種事業計画の作成
- 各種構想図の作成



- 事業効果の算定 (計画書策定) 等
- ○○地区計画書

### 実施設計から技術援助

地域の意向を反映した事業計画に基づいた事業実施設計書の作成を支援しています。



- ○○地区計画書



### 維持管理

農地や水利システム、土地改良施設等の適切な維持管理に向けた研修や補助事業等の実施を支援しています。



- 多面的機能支払交付金
- GIS(地理情報システム)
- スtockマネジメント
- 土地改良施設診断・指導
- 管理技術者の育成・確保

### 事業実施

換地技術を活用した農地の利用集積や土地利用調整、測量・登記、行政と連携した施工管理を支援しています。



- 標準積算システム
- 測量設計
- 換地・確定測量
- 現場技術管理支援



# 農村計画課

## 事業計画(円滑な事業採択を支援します)

### 実施計画策定事業(旧:団体営調査設計事業)

#### 実施計画策定事業

##### 【事業内容】

○農業農村整備事業の整備対象となる地域において、整備対象の実実施計画策定事業に必要な諸条件について、調査、計画及び設計を行う事業で、沖縄振興公共投資交付金交付要綱の農業農村整備事業実施計画策定事業、農地防災事業実施計画策定事業となっています。

##### 【実施主体】

○実施主体は、市町村等(市町村その他実施計画事業の実績があるなど当該実施計画事業を実施できる者として、都道府県が適当と認める者。)となっています。(水土里ネットおきなわが事業主体になる場合、市町村は申出書を提出する必要があります。)

##### 【実施内容】

○市町村や土地改良区等の団体が行う土地改良法手続きを伴う各種事業(農業用排水施設、農業用道路、区画整理、農用地の造成、客土又は暗渠排水事業)を実施する為の調査、計画及び設計を行い、新規採択に必要な実施計画書(ヒアリング資料)を作成します。

##### 【実施期間】

○事業の実施期間は1年以内です。  
(複数年度にまたがり実施することはできません。)

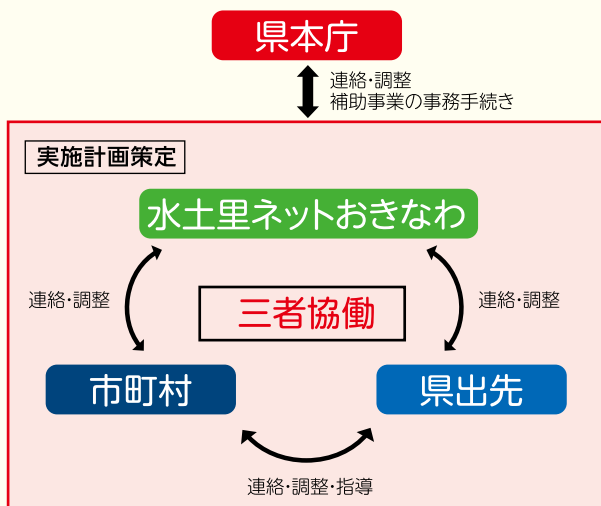
##### 【実施手続】

○事業の実施を希望する実施主体は、農業農村整備事業実施計画策定事業地区概要表を作成し、都道府県知事に申請を行う必要があります。

##### 【計画策定費】

○国:50%、県:25%、市町村等:25%(賦課金)

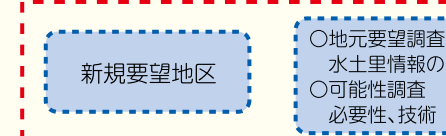
#### 【推進体制図(案)】



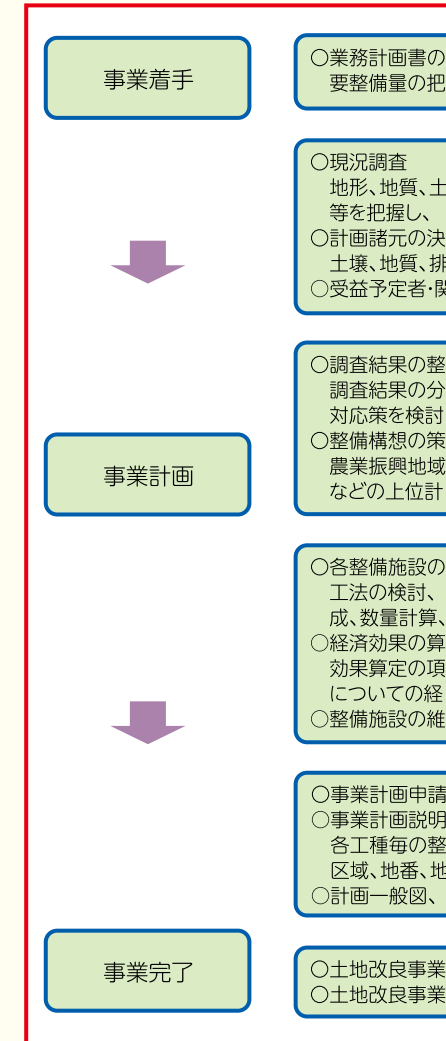
#### 実施計画策定事業業務フロー

- 事業採択前に、新規地区の地元要に向けた会員支援を行います。
- 実施計画策定事業では、現況調査に必要な実施計画書(ヒアリング資

#### 【採択前の会員支援(新規要望)】



#### 実施計画策定事業



事業 採択

望、必要性、可能性等を調査して事業化

整備構想、基本設計等を行い、新規採択料)の作成を行います。

地区)

活用、UAV測量、アンケート調査の実施

的可能性調査の実施

作成  
握、実施方針の策定、計画構想案の作成

壤、地積、気候、営農の状況、社会経済条件  
整理する  
定に関する調査  
水状況、関係事業の工事例等を調査する  
係機関・JA等の意向調査

理・検討  
析及び課題・問題点の整理を行い、今後の  
する  
定  
整備計画及び事業管理計画、各種関連計画  
画を基に地区の整備構想を策定する

基本設計  
経済比較、規模構造の決定、基本設計図作  
概算工事費の算定などを行う  
定  
目及び考え方を整理し、農業生産基盤整備  
済効果を算定する  
持管理計画の策定

書(計画概要表等)の作成  
資料の作成  
備の必要性、現況平面図、現況写真、受益  
積、受益者、耕作者等の一覧表の整理  
計画平面図等の作成

計画概要書の作成  
計画書の作成

新技術(3次元モデル図)の紹介

- UAV測量により撮影されたオルソ画像や3次元データを活用して、立体化された3次元モデル図(3D図面)を作成します。
- 作成した3D図面は、関係者との協議や地元説明会等での表現力の向上と臨場感のある分かり易い説明資料に利用します。

【工種:区画整理】



(整備前)



(整備後)

【工種:農業用排水施設】



(整備前)



(整備後)



# 農村整備課

## 調査計画・実施設計から技術援助・施設

### 調査・測量・設計業務

- 圃場整備(農用地の集団化)
- 集落地域整備
- 畑地かんがい施設整備
- 農業集落排水施設整備
- 農業農村整備事業の基本構想、基本計画から各種調査測量設計等に関する業務

### 農業農村整備事業

#### 農業生産基盤整備事業

農業生産に必要な土地や水資源を確保し、その整備水準を高め、生産性の向上を通じて農業生産の体質強化を図るとともに、担い手育成等構造政策を推進します。

- 用排水施設の整備
- 農地の整備

#### 農村整備事業

農村の快適な生活環境と定住条件を確保するため、生産基盤の整備と一体的に生活基盤整備を図り、美しいむらづくりを進めます。

- 農道の整備
- 農業集落排水施設の整備
- 農村の総合的整備
- 中山間地域の総合的整備

#### 農地等保全管理事業

農業生産を維持し、農村居住者の生命や財産を守る農地防災・保全施設等の整備を図り、土地改良施設の管理を行います。

- 農地の防災保全
- 施設の維持管理

### 有資格者による経験豊富な技術支援体制

#### 設計積算要領の取りまとめに関する業務

- 農業農村整備事業における設計・積算に関する事項についての統一、検証、整理、取りまとめ業務

#### 現場技術支援業務

- 会員等が実施する工事の現場技術援助に関する業務
- 会員等が実施する工事の設計・積算、設計変更、精算設計資料作成業務

#### 農業農村整備事業に対する意見書の作成業務

- 調査計画、経済効果等の事業計画書が採択地区として適正、妥当な計画か、土地改良専門技術者の意見書作成業務

#### 沖縄県農業集落排水事業推進協議会(事務局)

- 全国農業集落排水事業推進協議会との連携
- 新規希望地区の採択、予算枠の拡大及び制度拡充のための提案・要望
- 農業集落排水事業に関する研修会及び情報の提供(機能診断調査及び最適整備構想策定業務等)

<整備前>



<整備後>



大区画化により農作業効率が向上

水稻

タマネギ



暗渠排水整備により水田の汎用性が向上



ため池からの取水→人力で散水



スプリンクラーによる散水



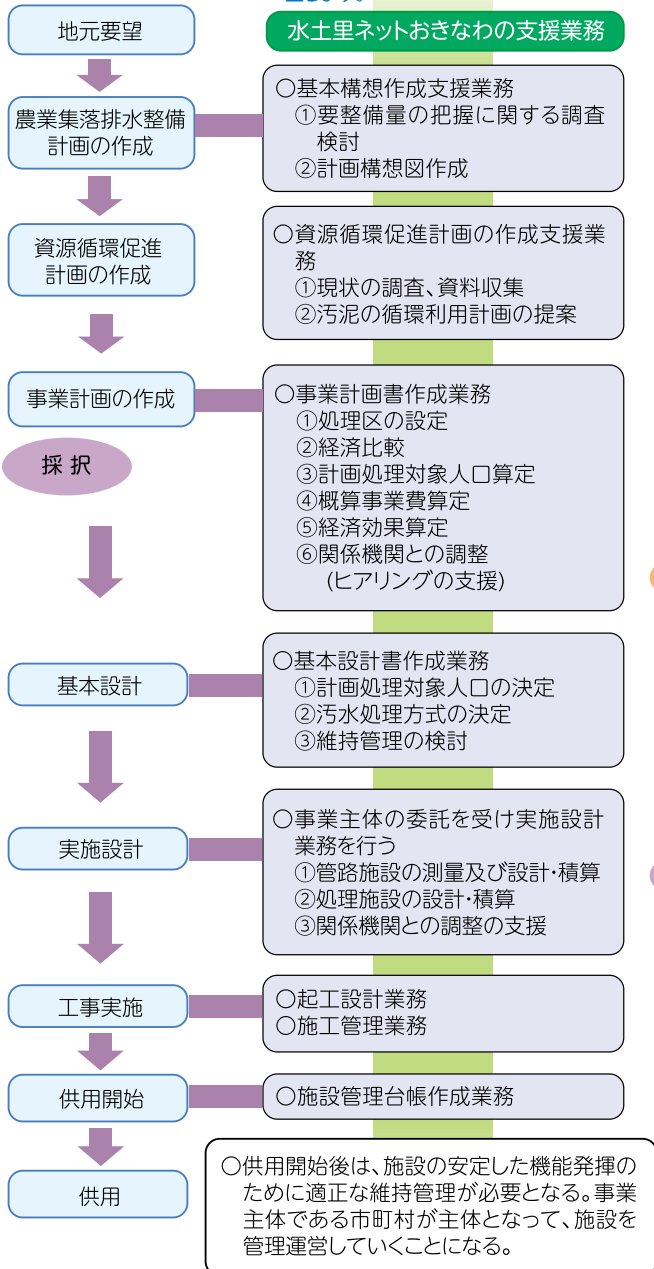
# 維持管理までを支援します

## 農業集落排水事業

○農業集落排水事業は、『農村地域における資源循環の促進を図りつつ、農業用水の水質保全、農業用排水施設の機能維持または農村生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全に寄与するため、農業集落におけるし尿、生活雑排水等の汚水または汚泥を処理する施設若しくはそれらの資源循環利用を目的とした施設を整備し、もって生産性の高い農業の実現、活力ある農村社会の形成及び資源循環型社会の構築に資する』ことを目的としている。



### I 新規整備事業 実施フロー



### II 機能強化事業 実施フロー

